

第9号

2006年10月15日発行

地域通貨

戸田  
オール

http://www.toda-oar.net

Tel&Fax.048-421-3709

地域通貨戸田オール運営委員会

戸田市ボランティア・市民活動支援センター内

335-0022 埼玉県戸田市上戸田1-18-1

戸田市役所敷地内

TODA

Community Currency Toda Oar

オールネット

出合い ふれあい 支え合い

一人の力は小さくても協力すると大きな力になる。  
消火器も同じです。

# 防災特集

## ふるさと祭り

市制40周年・ふるさと祭り記念・・・ P.2

## 商工祭に向けて

商工祭会場には地域通貨を持って・・・ P.3

## 防災について考えていますか？

阪神・淡路大震災での建物倒壊率と火災発生率は  
比例したそうです。・・・ P.4



支援センターで 左から森委員、荒川委員、中島委員  
長、小池消防本部予防課長、田島安心まちづくり課長

## とだ防災キャンプ2006

自分や家族が無事であるためには・・・ P.6

## 徒歩帰宅訓練に参加して

リバーステーションから船で避難・・・ P.7

## 町会めぐり、人めぐり No.9

笹目3丁目町会長 福原真一氏・・・ P.8

わたしたち  
“いざと言う時 消防団員..”

火事・救助  
救急車は ...119  
消防テレホンガイド  
446-0119

戸田市消防本部・戸田市消防団

## TODA オールネットとは.....

戸田市内全域を対象に行う地域通貨戸田「オール」の試験運用を幅広く皆さんに理解していただくために発行するものです。もちろん、それだけではなく各市民活動団体の活動状況、また市役所など公的機関からの告知、各地区ごとのちょっとしたニュースをご紹介します媒体です。戸田市役所コミュニティ推進課と各町会の御協力により、市内全戸配布を行います。

私たちは、この「TODAオールネット」が、皆さんの生活をもっと楽しくするような戸田市のタウン紙になるよう頑張ります。

次号は2007年2月1日発行予定です



# ふるさと祭り

会場を競艇場に移してどうなることかと心配しましたが人出も多く、ポートコースの水を渡る風と夕日は夕涼みに最適だったのかも知れません。

私たち戸田オール運営委員会では市制40周年・ふるさと祭り特別発行として、地域通貨の記念特別シートを作成しました。一人でも多くの方に地域通貨を知ってもらい、利用してもらうために110オールを100円会員として入会していただきました。会場内の利用可能ブースや模擬店では、たくさんの方が利用されたようです。

ふるさと祭りで地域通貨といえば……清掃ボランティアです。こちらも、参加されたボランティアの方々に、戸田オールを差し上げました。

私たちも今年で5回目の参加になります。毎年、少しずつですが、戸田オールの輪が広がってきていることを嬉しく思います。（高本）



記念特別シート

## 戸田オール基金 1.ジュニサポフェスタ 2006

去る7月30日、「みんなで遊ぼう 遊びの国」をテーマに3回目となるジュニサポフェスタ2006を開催しました。今回も戸田オールを助成していただき、当日来場していただいた方々に10オールを、出演者の方々にも後日100オールを差し上げました。ジュニアサポートネットワークではいっしょになって活動して下さる小中学生の皆さんを募集しております。ぜひ一緒に市民活動に参加してみませんか？ 事務局048-431-3382（武内）



オープニングセレモニーには、「コバトン」とクマの「ゴン太くん」にも参加してもらいました。



イオン北戸田SSでのイベントにドテレンジャーも出動、千人近い親子連れが集まりました。神保市長も一緒に“出動”です。

## 2.エコライフDAYとだ 2006

エコライフDAYとは「1日だけでいいから地球温暖化防止を考えた生活を送ろう」という運動です。戸田市では第3回目。今回の参加者は全体で20,856人と前年度比で145%のアップ。これは戸田市民の18%が参加したことになります。また協力してくれた小中学生に対して戸田オールが10オールずつ渡されました。子どもたちが手にした10オールはただの十円ではありません。地球温暖化防止に貢献した証しでもあるのです。（山中）

## 3.グリーンツーリズム

8月7日から地域間市民交流を目的に、「高齢者の健康作りと生きがい作りの会」の7名が福島県白河市大信地区（旧大信村）を訪れました。古民家を改装した「やっぺ屋」に宿泊し、農業体験などを行いました。農業体験では、一人あたり800オールを受け取り、仲間同士で、また大信地区の皆さんと桃や野菜との交換をすることができました。将来的に、産直の野菜や果物をオールで交換できる「青空市」ができるといいですね。（水内）



高齢者の健康作りと生きがい作りの会

## 第6回埼玉EMサミット in 戸田

2006年11月10日(金)

善玉菌による環境クリーンな都市づくり

12:30開場 戸田市文化会館大ホール

主催 NPO地球環境・共生ネットワーク

共催 戸田市 NPO戸田EMピープルネット

連絡先 埼玉EMサミット in 戸田 事務局

048-421-2008 池上忠志方

# 戸田市商工祭 地域通貨イベントのお知らせ

戸田市商工祭（10月28・29日、戸田市役所ほか）に地域通貨「戸田オール」が参加し、下記のイベントを実施します。

**商工祭会場へは是非地域通貨をご持参ください。**

**商工祭会場で「戸田オール」が使えます**

「地域通貨戸田オール」のマークが付いた店舗・団体コーナーで10オール10円、100オール100円として使えます。



戸田オールマーク

**「お仕事体験隊」参加者募集**

小学生の児童に、商工祭会場内の店舗、団体コーナーの仕事のお手伝いをしてもらい、仕事のおもしろさ、楽しさを味わってもらうイベントです。

参加してくれた小学生には「戸田オール」を差し上げます。また、子供達のお仕事は戸田翔陽高校生のボランティアスタッフがお手伝いします。

実施日時 平成18年10月29日（日）

参加受付 午前10時30分～午後2時

お手い 午前11時～午後3時

参加定員 60名

受付場所 戸田市商工祭・地域通貨コーナー（戸田市役所噴水前）

参加者へのお礼 地域通貨「戸田オール」200オール

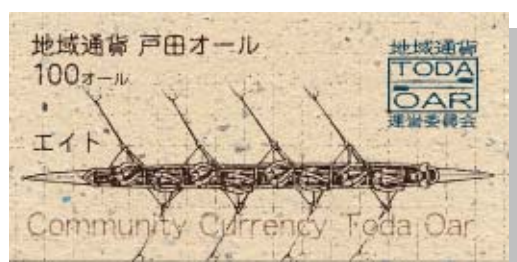
実施協力・協賛 戸田市商工会・戸田市商店会連合会・戸田翔陽高校



昨年の商工祭

**地域通貨コーナーで、有効期限が切れた「戸田オール」を新しい期限の「戸田オール」と交換します。（29日午前10時30分～午後3時30分）**

## 地域通貨戸田オール運営委員会の委員を募集します！！



地域通貨「戸田オール」は、新しいコミュニティづくりや市民活動を楽しむためのツール（道具）として、戸田市内で使われ始めて3年になります。これからも市民の皆様により親しまれる「地域通貨」を目指して、「戸田オール運営委員会」は頑張っています。そこで、新たな階段を上り始めるために、一緒に活動していただける委員を募集します。お気軽にお問い合わせください。オールネットの制作も、一緒にやりませんか！

【対象】地域通貨に興味のある方、市民活動に興味のある方、コミュニティづくりに興味のある方

【内容】地域通貨の普及・啓発のための企画・運営やイベントへの参加等

会議はおおむね月1回開催

【申込み・問合せ】平成18年11月15日（水）までに

下記あてお申込み下さい

地域通貨戸田オール運営委員会

TEL 421-3709

戸田市役所 コミュニティ推進課

TEL 441-1800（内線431）

### 高橋シュウ銅版画と二つの工房展

2006年11月28日（日）～12月4日（月）

戸田市文化会館展示室 午前11時～午後5時

12月2日（土）、3日（日）午後2時から

公開制作（銅版画の刷り作業）をおこないます。

**入場無料**

主催 戸田市文化会館、高橋秀雄、高橋シュウ  
地域通貨戸田オールとTODAオールネットの表紙デザインは地元の高橋シュウさんによるものです。



## 座談会

# 防災について考えていますか？

## 自助共助の下、隣近所との連携が急務

今回は「防災」をテーマに安心まちづくり課の田島課長、消防本部予防課の小池課長をお招きして、中島委員長と森委員の4人で座談会を行いました。

## 我が家のハザードマップ作成を



小池課長

中島 本日はご多忙のところお集まりいただき、ありがとうございます。今回オールネットでは「防災」をテーマにしています。お二人、それぞれのお立場から、戸田市の現状、そして、今後のことを語っていただければと思います。まずは田島課長から。ハザード

マップについてお聞かせください。

田島 安心まちづくり課ができたのは昨年4月です。市では「災害に強いまちづくり」を目指し、ハザードマップを作成しました。各地区での住民懇談会、市民活動団体の皆さんとの意見交換会を行い、検討委員会の中で基本方針や想定する被害などを決めていきました。他と違うのは、洪水だけでなく地震についても作りましたし、小学生にもわかる災害に役立つ冊子も作りました。また「我が家のハザードマップ」を作ってもらおうと白地



中島委員長

図も入れておきました。基本的には市としては、災害時は「自助・共助」を基本とした考えで「災害に強いまちづくり」を進めています。市は、情報を提供し、災害に対する意識を啓発できればと思っています。あくまでも最悪なケースを想定したもので、ネット

版では浸水のシミュレーションを見ることができるとですよ。

中島 我が家の周辺の浸水が2mにもなるということを知ってショックでしたね。

森 ご近所の高い建物に住む人々と地域協定を結ぶとかを進めていかなければいけませんね。逃げろと言われても、走って逃げられるものではありませんからね（笑）

田島 そうなんです、市民の方々から同じ疑問が出ました。避難所は地震のために指定されていますし、備蓄倉庫も埋まっていたら出せません。他の市町村を見ますと、高台があるのですが戸田

にはありません。ですから、行政が間に入って地域協定をしてほしいという声もあります。今、北戸田イオンと災害協定を結びました。災害時には駐車場を避難場所として開放していただけることになりましたし、物資も提供していただけることになりました。ですから、自分たちのハザードマップ、防災計画を作っていたきたいのです。

中島 全戸配布されていますが、意外とサラッと見ている人が多いようです。いい情報が入っているんですけどね。

森 自分が興味を持たないとなかなか深く見ていけないのが現実かもしれません。あと空き地が欲しいですね。災害時に出る膨大なゴミをどこに持っていくのか。開発もいいのですが、これも考えていただきたいですね。

田島 確かに空間は必要になってきますね。地震のマップは全国でも例がないのですが、さらに震度6強の揺れを想定したところであり、家屋の倒壊が多発すると予測しています。現在の地域防災計画では、1万7千人程度の罹災者を想定していますが、実際はそれ以上になるかもしれません。やはり民間と協定を結ばなければいけませんね。

中島 教育現場だけでなく、大人に対しても「生きていく知恵」を教える場が必要だと思います。その面を小池課長にお話ししていただきましょう。

## 一度訓練すると違うもの

小池 我々の立場ですと、大勢の人に訓練に参加していただきたいと思っています。例えば、実際に災害にあって自分が予想していない状況になったとき、頭の中は真っ白になりますよね。その時になんとか自分を失わないのは普段の訓練なんです。1回訓練しておくだけでも違いますからね。というのは、消防の役割は「出動部隊」であり、通常の火災や救助、救急に対応できる装備しか持っていません。また阪神淡路大震災では、消防車は救急車が来ないという状況になりました。あのとき神戸市内では、地震発生から10数分間で60件もの火災があったそうです。これほどでなくとも、同時に10件、20件と言う火災が発生すれば、



田島課長



森委員

消防力を大きく上回るものとなります。そこで市民の皆さんに、次の三つをお願いしたいと思います。一番大切なのは、自分がケガをしない事です。自分の身は自分で守る。地震の恐ろしさは、地震そのものの破壊力と、二次災害として発生する大火災の恐ろしさです。ですから火の始末をすること。地域の人々が協力しての消火や救助、ケガ人の救護は大きな力になります。隣近所との助け合いが大事です。

**田島** 隣近所の人たちは本当に大事なんです。ですから、市の防災訓練は“見せる”ものではなくて参加して体験してもらうようにしているんです。

**小池** 昨年「街角消火器」を集めてきてもらう訓練も入れました。街角消火器は町会、自治会ごとに設置されていますが、今年の4月時点で約1,280本あります。消火器1本では消火できる能力は小さいですが、これが5本、10本となると大きな力になるんですよ。

**森** 町会長や役員の方は消火器が何処にあるのか知っていても、他の人は意外と知らないのでは。

**田島** ですから、家族や隣近所の人たちと話し合っ、我が家のハザードマップを作ってもらいたいのです。

**中島** 遠くの親戚より近くの他人なんですよええ。長くなりましたが、最後に田島さんには「防災情報メール」について、ご紹介ください。

**田島** 9月1日から始めました。内容は 大雨洪

水警報などの気象情報、避難に関する情報、大地震、大規模事故の情報。緊急性のある救急情報です。これから登録は無料ですので、よろしくをお願いします。10月22日には戸田市防災訓練が行われます。昨年は約3,000名の方々に参加していただきました。また都内からの徒歩帰宅訓練には48名の方々に参加していただくなど、今までにはない多くの皆さんに関心を持ってもらっています。**中島** ハザードマップを見た人は意識が高まっていると思います。今年も多くの方々に参加していただきたいですね。小池さん、最後に一言お願いします。

**小池** 平成15年に都道府県において緊急援助隊の編成が法律で制定されました。指揮部隊、消火部隊、救急部隊、救助部隊、後方支援をする部隊などが置かれていますが、戸田市消防本部としては救急、後方支援部隊に登録しています。一昨年の新潟県中越地震では、5名の隊員が後方支援部隊として出動しました。埼玉で災害が起こったら、隣接する都県から緊急援助隊がくることとなります。もっと被害が大きくなれば、さらに周辺の県から来てもらうのです。そういう支援、受援体制が全国規模でできていることも、お知らせします。

**中島** 今後も意識を高く持っていただきたいものです。本日はいろいろなことを教えていただき、ありがとうございました。

## 防災教室 & 救命講習

～戸田市が誇る“アミューズメントパーク”で学ぼう～

新倉にある戸田市消防本部の6階には、119番のかけ方を学んだり、地震や煙の体験などができる市民防災教室がある。体験型のアミューズメントパークと言ってもいい施設の中で、学べば防災の意識がより高まることは間違いない。例えば、地

震体験のコーナーでは、まず火を消すこと(当たり前ですね)、ドアを開けて逃げ道を確保しておくこと(これが重要!)、そしてテーブルなどの下に隠れることを



救命講習風景



あなたも消防隊員に?!

体験することができるのだ。「市内の小学4年生は社会科見学の授業として体験し

てもらっていますが、グループや友達同士で気軽に来てください」(小池課長)。また別途、木曜、日曜は救命講習も受付している。3時間の中で人工呼吸やAEDの講習があり、認定書が渡される。

「希望日があれば、それ以外でも対応しますし、人数が多いときには予約してください。また、出前講座も行っています。現在、3314人の市民の方々に受講していただきましたが、目標は1世帯に一人。約5万世帯ありますから、5万人を目指しています」(小池課長)

ぜひ一度、消防署へ行ってみませんか。(荒川)



# とだ防災キャンプ2006 ~伝える~

2006年8月26～27日(土・日)初めて、とだ防災キャンプ2006が芦原小学校で「とだ防災キャンプ実行委員会」主催により実施されました。実行委員会はエコ・とだ・ネットワーク、芦原小学校ふれあいセンターが協力し、福祉で防災ネットワーク、市民活動推進委員会、地域通貨戸田オール運営委員会、そして地元の芦原町会、芦原小学校 地域の皆さん、個人参加の市民に呼びかけ構成されています。実行委員長が交流のある、東京いのちのポータルサイトの方にも協力いただきました。

テーマは「伝える」。芦原小では「親子防災キャンプ～ふれあい～」と題して地域の方にも参加を呼びかけてくれました。



終了後の記念写真

避難所には地域の学校がなっていますが、災害がなければ避難所などに泊まることはないと思います。避難所で寝ることがどんなことなのか、楽しいのか、辛いのか、どんな問題点があるのか、何を感じるのか等など・・・宿泊を通して様々な問題点を洗い出すためにも「考えるより体験」と言うことで実施されました。宿泊をしながら避難所体験のみを目的とするのではなく、災害発生時に自分や家族が無事であるためにどうしたらよいかを考える場として、地域のコミュニケーションを更に促進する、事を目的としています。

内容は、1.防災に親しむ。とっさの時の身の守り方や参加者の交流のため「この人誰」で仲良くなるきっかけを作る。2.防災について踏み込んでみる。



水消火器で消火体験

も助けを求めるためにも大声コンテストを実施。はしご車のデモンストレーション。応急手当や応

命を守り、怪我を防ぐ為に何をするのか、優先順位があること。耐震補強、家具の固定。消防の対応などについて。3.防災を体感する。普段で



「頑張るぞー！」班の一体感を盛り上げです

急担架の作り方、水消火器、消防団の放水と一緒に持たせてもらう、など3つにわけました。子どもたちには素敵な体験となったようです。

今回、障害者の方達と一緒に実施しました。別にした方が良いという意見もありました。障害者はいつでも周りにいるのです。「いるのが当たり前」「いつ自分も事故・病気などで障害を持つかわからない」そんな考えで、気軽に交流し立場を理解することから次のことが始まると思います。「障害者をサポートする人が集められない」そんな意見もありました。でも考えて欲しいのは、災害時



どこへ行くの？

に十分な手当など出来ないのです。周りにいる人は被害者であり、救助者でありサポーターであるはず。実際に子どもたちは障害者の人と生活したことで、積極的に話しかけ気にかけてくれていました。視覚障害者には「どこ行くの？一緒に行こう」とか、寝るときにも「トイレ行きたくになったら起こしてね」と言ってくれています。昨年、福祉青少年会館で宿泊体験したとき「出入り口の近くに」と言っていた人が子どもたちと奥の方で寝ていました。神戸では高齢の人が「トイレが近いから」と、一番寒い出入り口近くで寝ていたそうです。しかも水を飲むと寒さでトイレが近くなるからと、水を控え体調をくずす人もいたと言います。視覚障害者から「やってやると言うボランティアが多い中、子どもたちの対応が嬉しかった」と感想もあり、お互いに心からふれあい、思いが伝わったようです。嬉しいですね。この様な経験をした子どもたちが大きくなったときどんなまちになるでしょう。楽しみです。

(森)

概要報告書と詳細は <http://www.eco-toda.net/>

## 徒歩帰宅訓練に参加して



防災の日の9月1日、第27回8都府県市合同防災訓練に私たち男性5名、女性5名の戸田市民も参加。出発地の北千住では200

人以上の方が受付をすませていました。

まず、徒歩で荒川に出ました。時間は15分足らずでしょうが、大震災だったら荒川にたどり着くのに1時間位は掛かるのではないのでしょうか。

千住新橋を越えて足立リバーステーションに到着、水・乾パン・タオルが支給され、3隻の船に分かれて乗船。河原では放水など様々な防災訓練が行われており、自衛隊のヘリコプターが空中で静止し、隊員がロープで降下する訓練は、まるで映画を見るような風景に興奮を覚えました。川口リバーステーシ

ョン到着後、リリアまで歩き、終わりの挨拶を頂き解散。多くの事を体験し、学んだ1日でした。最後に心打たれた10か条がありましたので、是非参考にしてください。（水内）

帰宅困難者心得 10 か条  
慌てず騒がず、状況確認  
携帯ラジオをポケットにつくっておこう  
帰宅地図  
ロッカー開いたらスニーカー（防災グッズ）



机の中にチョコやキャラメル（簡易食料）  
事前に家族で話し合い（連絡手段、集合場所）  
安否確認、ボイスメール（災害用伝言ダイヤル）  
や遠くの親戚  
歩いて帰る訓練  
季節に応じた冷暖準備（携帯カイロやタオルなど）  
声を掛け合い、助け合おう

## 消防団って？

### ～戸田市消防団第四分団を紹介～

消防団は火災や水害などの災害の際、消防署とともに消防の一翼を担い活動しています。皆さんは普段、それぞれが地域に根ざした仕事を持っており、すべての現場に行くのではなく、消防本部から「第二次出動」が発令されると出動するというボランティアなのです。戸田市には7つの分団があり、各分団は13名が定員とのこと。今回お邪魔した第四分団は、中町、喜沢、喜沢南を管轄しています。主な活動内容としては、荒川左岸水防訓練への参加、防災訓練・出初式への参加、年3回の夜警などを行っています。

最近では、第二次出動を知らせるサイレンと同時に、消防本部から携帯電話に送られる「指令メール」を受けて出動するそうです。「今まで大きな災害がひかなくてき少ない戸田市ではありますが、他人事ではありません。市民一人ひとり、今以上に防災の意識を持ってほしいですね。また現場では、皆さんのご協力が不可欠。よろしくお願いします。」（分団長の熊木勝さん）いざとなったら、僕らも協力しないとイケませんね。（武内）



戸田市消防団第四分団

## 笹目中学校地域

### ふれあい体験学習講座に参加します

あなたの怒りをしずめる方法を見つけよう！

10月28日の13時50分より笹目中学校において、戸田ライオンズクラブと共同で「笹目中学校地域ふれあい体験学習講座・あなたの怒りをしずめる方法を見つけよう！」という講座を開催します。

これは「思春期のライフスキル教育」プログラ

ムの一つで、子どもの「学びたい」と、大人の「教えたい」を繋ぐプログラムです。日々の困難を乗り越えて生きる術……それがライフスキルです。

ちょっとした工夫をすることで、怒りをしずめて自分を落ち着かせることもできるのです。冷静になれば、その状況にもっとうまく対応でき、まわりの人とのよりよい関係を築いていくことも可能です。怒りと上手につきあうための、あなたなりの方法を探してみませんか？



## 町会めぐり、人めぐり Vol.8

～ 笹目3丁目町会長 福原真一さん～

少しずつ広がっています、人と人の輪



新大宮バイパスの東側、北大通りの南側に位置する笹目3丁目は、笹目コミュニティセンターの所在地でもあります。今回のオールネットの特集である“防災”

の取り組みにさまざまなアイデアをお持ちの、笹目3丁目町会長福原さんにお話を伺いました。

「町会の行事などで笹目3丁目は『ピンク色』を使うことが多いのです。このことを災害時にも利用できないものかと考えています。例えば、災害時にピンク色のものを身に着けることによって同じ町会であることがわかるような目印としたいですね」と、身近な観点からアイデアを見出す

福原さん。また、「プールに溜めてある水をただ捨てるのではなく、防火の練習に使用したいです」と、資源を再利用しながら防災に活用することもお考えになっています。続いて、笹目3丁目のコミュニティを活発化させる取り組みとして、次のように話されました。

「町会名簿を作成するのは個人情報保護の関係上なかなか困難なので、せめて、よく顔を合わせる“向こう三軒両隣”をひとつのまとまりとし、来年は『向こう三軒両隣カード』を作成したい。隣と隣がどんどんつながり、やがて輪となって、町会がひとつになれば」とのこと。災害時にかかわらず、もしもの時には“隣同士のつながり”が大切ですよね。

15年前に戸田市に転入し、これからどんどん発展していくまちという印象を持たれ、町会長に就任されてから2年目。今後も、福原さんの熱意ある取り組みに、目が離せません。（大森・早川）

## 学校訪問「おじゃまします!!」 Vol.5

戸田市立戸田東中学校 生徒会本部役員の皆さん  
～ 生徒による各種活動が活発な東中～

戸田市の東に位置する戸田東中学校。10クラス350名程の規模で戸田東小学校に隣接し、校内には市内の遺跡で発掘された出土品を展示している「東雲エコミュージアム」や生徒がいつでも利用できる「さわやか相談室」などもあります。

「東中は花や緑が多くとても明るく楽しく落ち着いている学校です」と嬉しそうに語るのは、戸田東中学校の生徒会本部役員のみなさんです。

東中学校の自慢の一つは、生徒による生徒会活動・委員会・部活動がとても盛んなことです。特に生徒会本部では募金活動・あいさつ運動をはじめ、今年は委員会・部活動の活性化、行事での生徒会企画の運営など多岐にわたり、全校生徒のリーダーとして活動しています。

文化祭「東雲祭」も学校の自慢の一つです。生



生徒会本部役員の皆さん

徒会を中心に、学年での劇や選択授業のダンスや音楽の発表・有志によ

る発表、さらに校舎内では生徒会の企画したクイズラリーをはじめとする各種展示が行われ大盛況を収めました。今年度は新たに東雲祭終了後「後夕祭(ごったまつり)」が行われました。「生徒会本部をはじめみんなが当たり前のことを当たり前のようにできる。そこが東中の最大の魅力ですね」と語るのは生徒会担当の神田安幸先生。地域通貨「戸田オール」についても「学校生活の中で地域通貨を使えるシーンは多いように思います」とのことでした。（武内）

【法人会員】 ニッケン建設(株)、戸田中央総合病院、ファミリーマート田中上戸田店、(有)古河屋(こが屋文具)、(株)平和不動産、戸田市商店会連合会、戸田市商工会、戸田市商業協同組合、戸田中央産院、中島孝雄税理士事務所、サポートセンター・ウィング、美笹商店会、(株)全通、(有)セルフ、(株)アイ・ライフ、(有)三京、戸田中央リハビリテーション病院、須藤歯科医院、(株)富岡製作所、喜沢一丁目商店会、(株)工房、五葉建材(株)、(株)池田紙工  
(敬称略・順不同、平成18年1月1日現在)